

議事概要記録

開催日時	平成 27 年 4 月 11 日 (土) 14 : 30 ~ 16 : 30	開催場所	和歌山市医師会成人病センター 4 階 研究室
会議種別	平成 27 年度 第 1 回理事会	議長	竹中 正人
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、瀧口 良重、久保 光史、神藤 洋次、 石井 啓子、脇村 小津江、田原 靖子、 村田 正吾、勝山 浩樹、17名		
欠席者 〈敬称略〉	なし	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <p>会長報告</p> <p>第 1 回常務理事会報告</p> <p>事務局報告</p> <p>学術部報告</p> <p>経理部報告</p> <p>第 36 回和歌山県医学検査学会 事業・収支決算報告</p> <p>表彰審査委員会報告</p> <p>各種委員会報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公益事業活動 2. 定款・渉外 3. 精度管理 4. データ標準化 5. 会誌編集 6. ホームページ 7. 会報 8. 月例行事予定表 <p>連盟</p> <p>その他</p> <p>審議事項</p> <p>和学会非会員参加費について</p> <p>総会について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・竹中会長より開会宣言があった。</p> <p>ひき続き、玉置会長より挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告</p> <p>日臨技関連報告</p> <p>平成 27 年度定時総会にて、日臨技定款の一部変更案（日臨技会員＝地臨技会員 と言う関係を定款記載する）について、全国幹事に意見を求められたと報告が有った。</p>		

た。しかし、法人間の関係について日臨技定款記載となれば、地臨技定款も記載変更する必要が有るなど時期尚早と判断し、断念したとの報告が有った。日臨技としては 27 年度総会において、定款変更の提案はしないものの、日臨技会員＝地臨技会員という関係を構築したい旨の説明がなされるであろうとのことであった。

日臨技災害対策検討委員会の発足に際し、委員長としての参加要請が日臨技よりあったと報告が有った。明日 4 月 12（日）に第 1 回目の会議が開催されるとのことであった。

近畿支部関連報告

2 月 28 日に幹事会が有ったと報告が有り、支部学会運営方法の統一について審議したと報告が有った。

他団体関連報告

3 月 18 日に平成 26 年度医療従事功労者賞授与式（表彰者：大石博晃常務理事）が有り、来賓出席したと報告が有った。

3 月末、大阪コミュニティー財団へ平成 27 年度助成事業募集に対し「第 10 回アジア臨床検査技師研修会、8 月 20-22 日タイ国立チュラロンコーン大学内」が選考された。

第 1 回常務理事会報告

事務局より第 1 回常務理事会について説明した（詳細は会議録参照のこと）。

事務局報告

3 月 8 日に表彰審査委員会より各賞の推薦答申が会長にたいして行われた。

3 月 18 日に平成 26 年度和歌山県医療従事功労者賞授与式は執り行われた。

3 月 20 日に日臨技定款の一部改正案について幹事に対して意見陳述を求められた。しかし、3 月 31 日に断念する旨の通達が有った。

3 月 22 日に平成 26 年度和臨技精度管理報告書と参加証明書が精度管理委員会より発送された。

4 月 7 日に公益社団法人和歌山県病院協会立和歌山看護専門学校長に成川会長が就任されたと挨拶が有った。

学術部報告

平成 27 年度学術部研究班の研究班役員名簿が提示された。また、各研修会・勉強会の年間スケジュール表も提示された。

平成 27 年度和臨技オリエンテーション（平成 27 年 4 月 25 日（土））での学術部ミニレクチャーについて、「ベーシックレクチャー ～免疫血清～」として中尾光孝技師（国保日高総合病院）、「輸血検査について」として中島志保技師（和歌山県立医科大学附属病院）が行うと報告が有った。

第 18 回学術部一泊合同研修会について、6 月 20 日（土）・21 日（日）の 2 日間、かんぼの宿 紀伊田辺にて開催すると報告が有った。症例検討会について、細胞病理班から阪田幸範技師（日本赤十字社和歌山医療センター）、血液班から小山明日美技師（紀南病院）が出題すると報告が有った。また、症例検討に入る前に竹中正人副会長より教育講演（実技）「K-J 法」を企画したと報告が有り、「K-J 法」を習得したうえで症例検討に入ることにより、グループ討議にまとまりを持たせたい狙いがあると

説明が有った。

2日目の臨床講演は「脳とこころからみた精神医学」（仮題）として、講師に和歌山県立医科大学神経精神医学講座講師の辻富基美医師を招くと報告が有った。

経理部報告

特になし

第36回和歌山県医学検査学会 事業・収支決算報告

畑学会長・石井実行委員長他、実務委員36名で行われ、実行委員長より以下のように報告が有った。

- 一般演題 17 題
- 企業プレゼンテーション 8 題
- 機器およびパンフレット展示 7 社
- 特別講演は“うつ”について 講師：岩谷潤医師（こころの医療センター）
- 技師連盟加入 PR ブースの設置
- 意見交換会 110 名
- 学会参加者 157 名

タイトなスケジュールにもかかわらず、全てにおいてスムーズに進行できたとのことであった。また、たくさんの会員・賛助会員の参加を得られ盛会であり、かつ会員の研究の成果を確認でき、最新の医療機器・技術の情報を得られた。さらに、地方紙（有田タイムス、和歌山特報、わかやま新報）への記事掲載により臨床検査技師を県民に周知できたのではないかと実行委員より報告が有った。

収支決算についても、詳細な報告と説明が有った。

事業報告・収支決算報告の全てにおいて全会一致で承認された。

なお、非会員の扱いについて、マニュアルに記載されていなかったため、非会員受付時に混乱したとの報告もあった。非会員の扱いについては、参加費も含め引き続き審議することとした。

表彰審査委員会報告

前回の理事会にて報告した会長賞候補者に引き続き、第36回和歌山県医学検査学会において学術奨励賞ならびに新人賞の推薦候補者を会長に答申し、承認を得られたと報告が有った。

また、理事会にて推薦理由が明記された答申書を開示し、内容について一読頂きたいとの申し出が有った。また、表彰時に推薦理由についても述べるとのことであった。

各種委員会報告

公益事業活動

ピンクリボン

4月1日から4月10日に「ピンクリボン着用週間 in 紀南」が行われたと報告が有った。

定款・渉外

特になし。

精度管理

学会前日に平成26年度精度管理合同報告会を行った。参加者は82名、報告者は8名、質疑内容等の各研究班報告会概要について、一読頂きたいと報告があった。総括として、単位の誤記入、単位間違いが散見され、注意喚起したとのことであった。また、試料到着から測定までの日数が長い施設が認められ、出来る限り速やかな測定をお願いしたとのことであった。

是正報告書については引き続き検討すること。4月25日の精度管理委員会の場において、報告基準・発行タイミング・発送方法・保管方法・報告書への組み入れの是非、等々審議する事項が多岐にわたることであった。

引き続き案内書や報告書のフォーマット統一化を図り、他団体の精度管理事業とのタイミングを見ながら事業を行うと報告があった。

メーカー協賛サーベイについて調査したところ、近畿支部近隣では協賛・共催といった運用は行われていないと報告があった。

精度管理報告書ならびに参加証明を発送したとのことであった。

和臨技シンボルマークを多用したい旨の申し入れがあり、承認された。

精度管理事業での文言について、案内／申込書・各班手引き書・精度管理報告書・参加証明書など、それぞれ表記が異なり、一つに統一したいとのことであった。25日の精度管理委員会にて検討し理事会報告後に決定することとなった。

参加証明書には検体配布日は組み入れないことにした。

和臨技精度管理事業に対し、和歌山県・和歌山県医師会・和歌山県病院協会から後援名称使用の依頼をすることとした。

データ標準化

前回理事会において、山本慶和 JCCLS 基準範囲共用化委員・日臨技標準化委員より共用基準範囲の使用状況調査依頼があった事を報告したが、和歌山県内の施設では導入に至っていない旨を回答したと報告があり、山本委員よりその後の集計結果があったと報告があった。

事務局を通して日臨技事務局より精度保証施設認証制度一覧が届き、和歌山県は3施設と報告があった。

会誌編集

特になし

ホームページ

ホームページならびに会報等で使う写真を募集すると報告があった。

会報

只今校正中とのこと。5月号の行事予定表と同時に配布予定であると報告があった。

月例行事予定表

特になし

連盟

3月1日の和歌山学会にて41名加盟があった。

5月23日に大森東急インで連盟執行委員会が開催される。その時の最新情報を中心に和臨技オリエンテーションで説明するとともに、入会のお願い報告があった。

審議事項

和学会非会員参加費について

和歌山学会での学生・非会員の参加費について審議した。学生は無料とすること、非会員は6,000円（参加費1,000円＋会費相当の5,000円）とすることで決定した。

総会について

総会議案書を読み上げ確認を行った。標記の不具合や誤字脱字等を指摘し、逐次修正を行った。

記録作成	平成27年4月20日	氏名	田中 規仁	提出	平成27年4月21日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可